旅順口ヲ撤去ノ件ニ関シ聖比得堡ニ於テ露国政府ト
交渉中ナリトノコトヲ告ケタリトニフ
然ルニ二月廿五日ニ到リ在新嘉坡森川領事ヲ獨國
皇帝「ハイニリヒ」親王ノ率フル獨逸四軍艦二隻ハ愈〻同
月廿四日ヲ以テ来着セリトノ電報アリ其後同領事ヲノ
續電ニヨレハ右二艦トモ同月廿八日香港ニ向ケ出港セリトノ
コトナリキ

韓國問題ニ關スル日露兩國間協商一件

日露兩國協商ニ関スル覚書ノ議定書

明治廿九年二月十一日韓國ヲ露國ヲ使館ヘ播遷ノ事ヲ
リシヲ以テ韓國人一般ノ意向頓ニ一変シ専ラ日本人
排斥ノ傾向ヲ呈シ甚シキハ之ニ危害ヲ加フル者アルニ至リ
内外ノ人心恟々タリ是ニ於テ在京城小村公使ハ一面我
居留民ノ保護取締ヲ努メ一面駐韓露國公使ト協
議シテ專ラ露國水兵ト我守備隊トノ衝突ヲ防止ス

REEL No. 1-0344
0078
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

然ハ、當時ノ形勢韓國ハ綱紀弛廢シテ政務挙ラス
擾亂踵ヲ接シテ起リ秩序日ニ紊シ加之日露兩國
ノ関係益々切迫ヲ告ケ事体容易ナラサルヲ以テ特
来韓國獨立ノ實ヲ擧ケンカ爲メニハ利害関係最
モ密接ナル日露兩國ニ於テ之ヲ協定スルヲ必要
ナルヲ認メ茲ニ廟議一決シ在日本露國公使并ニ駐
露西亞使ヲ経テ露國政府ニ對シ數回内議ノ末駐
韓小村公使ヘ訓令スル所アリ其後同公使ニ於テハ在

京城露國代理公使「ウエーバー」ト同ジ數回會同商
議ヲ經テ遂ニ同年五月十四日ニ至リテ協議全ク結了シ
同日兩公使ニ於テ左ノ覆書ニ記名ヲ了セリ

覆書

在京城日露兩國代表者ハ其ノ各自ノ政府ヲ同樣ノ訓
令ヲ受ケ協議ノ上左ノ通リ議定セリ

一、朝鮮國皇帝陛下ノ王宮ヘ還御ノ事ハ陛下御一己ノ
裁斷ニ任ヲヘキモ日露兩國代表者ハ陛下カ王宮ニ還

REEL No. 1-0344
0079
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

御アラセラルヽモ其ノ安全ニ付キ疑惑ヲ抱クニ及バザル時ニ至ラバ還御アラシコトヲ忠告スヽシ又日本國代表者ハ茲ニ日本仕士ノ形絆ニ付キ嚴密ナル措置ヲ執ルベキ保証ヲ與フ

二、現任内閣大臣ハ陛下ノ御一存ヲ以テ任命セラレタルモノニシテ多クハ過ル二年間四務大臣其ノ他ノ顯職ニ在イテ寛大温和主義ヲ以テ知ラレタル人々ナリ日露両國代表者ハ陛下ガ寛大温和ノ人物ヲ其

ノ聞ニ任命セラレ且ツ寛仁ニシテ其ノ臣民ニ對セラレシコトヲ陛下ニ勧告シ以テ常ニ其ノ目的ト為スベシ

三、露國代表者ハ左ノ點ニ付キ全ク日本國代表者ト意見ヲ同フス即チ朝鮮國ノ現況ニテハ釜山京城間ノ日本電信線保護ノ為メ或場處ニ日本國衛兵ヲ置クノ必要アルベキコト及現ニ三中隊ノ兵丁ヲ以テ組織スル所ノ該衛兵ハ可成速ニ撤回シテ之ニ代ルヽ憲

REEL No. 1-0344
0080
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

兵ヲ以テシ左ノ如クヲ配置スベキコト即チ大邱ニ五
十人可興ニ五十人釜山京城間ニ在ル十個所ノ派出
所ニ各十人トス尤右ノ配置ハ要更スルコトヲ得ベキモ
憲兵隊ノ總數ハ決シテ二百人ヲ超過スベカラズ而シテ
此等憲兵モ將来朝鮮政府ニ於テ安寧秩序ヲ
回復シタル各地ヲ漸次撤回スベキコト
四、朝鮮人ヲ萬一龍岩擊セラル、場合ニ對シ京城及各
開港場ニ在ル日本人居留地ヲ保護スル為メ京城ニ二

中隊釜山ニ一中隊元山ニ一中隊ノ日本兵ヲ置クコトヲ
得但シ一中隊ノ人員ハ二百名ヲ超過スベカラズ該兵ハ
各居留地ノ最寄ニ屯營スベクシテ前記龍岩擊ノ虞
ナキニ至リ次第之ヲ撤回スベシ又露國ニ使館及領事
館ヲ保護スル為メ露國政府モ亦右各地ニ於テ日本兵
ノ人數ヲ超過セザル衛兵ヲ置クコトヲ得而シテ右
衛兵ハ内地金ノ精論ニ鮮シ次第之ヲ撤回スベシ
明治廿年五月十四日京城ニ於テ

REEL No. 1-0344
0081
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

日本國代表者 小村壽太郎

露國代表者 ロエーバー

茲ニ又同年三月山縣陸軍大將ノ特命全權大使トシテ露國皇帝陛下ニ奏會ノ栄ヲ賜ハリタル同大使ハ露國政府ノ當局者ト會同シ韓國問題ニ関シ彼我ノ意見ヲ交換シ日露兩國間協商ノ途ヲ開クノ目的ヲ以テ西園寺前外務大臣ヲ議長トシ同大使ハ訓令ヲ帶ビ露都莫斯科ニ於テ露國外務大臣ト會見シ種々論議ノ末同年六月右協議ノ所アリタルヲ以テ同大使ハ訓令ヲ帶ビ露都莫斯科

ニ於テ露國ニ係ル諸式擧行ハ露國前任外務大臣ロバノフト會見シ種々論議ノ末同年六月右協議ノ全ク整ヒタル議定書ニ双方記名調印ヲ了セリ

議定書

日本國皇帝陛下ノ特命全權大使陸軍大將山縣侯爵及露西亞國外務大臣ロバノフ、ロストウスキー、ポクレテール、ロバノフ、ロストウスキーハ朝鮮國ノ形勢ニ関シ其ノ意見ヲ交換シタル諸條ヲ協議決定セリ

REEL No. 1-0344
0082
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第一條

日露両國政府ハ朝鮮國ノ財政困難ヲ救済スル目的ヲ以テ朝鮮國政府ニ向テ一切ノ費ヲ省キ且其ノ歳出入ノ平衡ヲ保ツコトヲ勧告スベシ若シ万止ヲ得ザルモノト認メタル改革ノ結果トシテ外債ヲ仰クコト必要トナル利ハ両國政府ハ其ノ合意ヲ以テ朝鮮國ニ對シ其ノ援助ヲ與フベシ

第二條

日露両國政府ハ朝鮮國財政上及經濟上ノ状況ノ許

スル限リハ外債ニ藉ラスシテ内國ノ秩序ヲ保ツニ足ルベキ内國人ヲ以テ組織セル軍隊及警察ヲ創設シ且ツ之ヲ維持スルコトヲ朝鮮國ニ一任スルコトニスベシ

第三條

朝鮮國トノ通信ヲ容易ナラシムル爲メ日本國政府ハ其ノ須ニ応ジテ有ラユル所ノ電信線ヲ引續キ管理スベシ

露國ハ京城ヲ其ノ國境ニ至ル電信線ヲ架設スルノ權利ヲ留保ス

REEL No. 1-0344
0083
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

右諸電信線ハ朝鮮國政府ニ於テ之ヲ買收スベキ手
段附キ次第之ヲ買收スルコトヲ得ルモノトス

第四條

前記ノ原則ニシテ尚ホ一層精確且ツ詳細ノ定義ヲ
要スル分ハ後日ニ至リ商議ヲ要スベキ他ノ事項生ジタ
ルトキハ兩國政府ノ代表者ハ友誼的ニ之ヲ妥協スルコト
ヲ委任セラルベシ

秋密條款

第一條

原因ノ内外タルヲ問ハズ若シ朝鮮國ノ安寧秩序亂
レ若クハ將ニ亂レントスル危懼アリテ而シテ若シ日露
兩國政府ニ於テ兩國臣民ノ安寧ヲ保護シ又電
信線ヲ維持スルノ任務ヲ有スル軍隊ノ外其ノ合意
ヲ以テ更ニ軍隊ヲ派遣シ内國官憲ヲ援助スルヲ
又要ト認メタルトキハ兩帝國政府ハ其ノ軍隊間ニ線
テノ衛戍ヲ設防スル為メ兩國政府ノ軍隊ノ間ニ全ク

REEL No. 1-0344
0084
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

占領セサル空地ヲ存スル樣各軍隊ノ用兵地域ヲ分

定スベシ

第二條

朝鮮國ニ於テ本議定書ニ兩條第二條ニ掲ク

ル內國人ノ軍隊ヲ組織スルニ当レリ朝鮮國ニ於テ日

露兩國同數ノ軍隊ヲ置クコトノ權利ニ関シ小村氏

ト「ロ」、コンセイエー、デター、アクチエル、ド、ウエバー氏記名シ

タル假取極ハ其効力ヲ有スベシ朝鮮國太皇主ノ讓

身上ニ関シ現ニ存在スル特權モ亦特ニ氏ノ任務ヲ有

スル內國人ヲ以テ組織セル隊創設セラルニ至レ

均シク之ヲ継續スベシ

千八百九十二年 二月九日 五月廿八日 「モスクワ」府ニ於テ之ヲ書ス

山縣 手署

ロバノフ 手署

REEL No. 1-0344

0085

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

韓國ニ於ケル露國陸軍士官ノ聘傭

前陳ニ如キ日露兩國間ニ於ケル協商アルニモ拘ハラズ去
廿九年十月中韓國政府ニ於テハ突然露國陸軍士官
ヲ傭聘シ同年十一月九日ヲ以テ該士官ニテ其國兵員ノ訓
練ヲ開始スルコトヽナリ右ニ(英文ニテハ露國政府ヲ條メ
帝國政府ニ向テ何等協商アルベキハ當然ナルベシ事件ニ
デハ帝ニ一應ノ協議ナキ爲サリシヤ亦試草斯科ニ於テ
山縣大使ト露國前任外務大臣ト議定書締結ニ(英文ハ該判中

REEL No. 1-0344
0086
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

韓國近衛兵及其他軍隊ノ編成教育ノコトハ日露間ニテ擔保スルニ當リテハ其分擔方並ニ其人員ノ比例等ハ將來協方ノ代表者間ノ協議ニ依テ定ムルコト相當シ此等ノ意味ヲ含蓄セシメ商定セラルル議定書第四條ノ旨意ニ悖ラザルモノナルヲ以テ大隈外務大臣ハ昨三十年三月青木駐露公使ヲ臨時代理ニ向テ去廿九年八月中韓國ヲ歴訪シ其在本邦露國臨時代理公使ヲ西園寺外務大臣ト面議セシメ

ノ序ヲ以テ日露間ニ韓國政府ニテ韓國軍隊組織ノ問題ヲ協議ス度ニ付テハ露國政府ノ意向ヲ確ムベキ旨電訓スル所アリタルニ本野代理公使ハ右電訓ノ趣ニ依リ同三月十七日露國外務大臣ヘ其意向ヲ叩キ尚キ了日上書ヲ手交シ置キタル處同外務大臣ハ同月廿四日同代理公使ニ向テ

韓國ハ獨立國ニシテ且莫斯科議定書第二條ニ依ル同國ハ其財政ノ許ス範圍内ニ於テ隱意ニ自國ノ軍隊ヲ組織スル權利ヲ有スルヲ若シ韓國政府ニ於テ要求スルニ於テハ露國ハ韓兵

REEL No. 1-0344
0087
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

訓練ノ為メ士官ヲ派遣スル権利アリ

ト云ヒタルヲ以テ同代理ヲ使ハシ兵ニ帝国政府ノ為メ後日ノ論據ヲ留保シ置カンカ為メ一旦ノ意見トシテ

只今閣下ノ陳述ニ依ル露国政府ニ於テハ本件ニ関シ帝国政府ト談判ヲ開始スルノ意向ナキカ如ク見ルモ差シ果シテ然リトセハ甚タ不審ノ至ニ堪ヘサル所ナリ閣下モ了悉ノ通韓兵組織ノ問題ニ付テハ莫斯科議定書ニ関スル談判ノ際露国公使委員ノ間ニ於テ多少意見ヲ交換シタルコトアルトモ其協議纏マラサリシヲ以テ右ハ後日ノ談判ニ譲

ルコトヽ成リ居リ且ツ同議定書第四條ノ趣旨ニ加フルニ従来露国政府ノ間ニ存在スル協議ノ精神ニ依ル韓国ニ関スル財政又ハ軍隊組織ノ如キ重大ノ問題ニ付テハ両国協議ノ上之ヲ決スヘキモノト信シ居リ然ルニ今者露国政府ニ於テ韓国ノ独立国タルヲ理由トシテ単独ノ働ヲ為サントスルニ於テハ且ツ大ニ従来ノ協議ニ反スルノ嫌ナキヲ得ス右ハ本国政府ノ訓令ニ接シタル譯ニアラスシテ固ヨリ本国政府ノ意見ニ反キサルトモ露国政府ノ意向ニ関シ確實ノ報告ヲ本国政府ニ送付スルニ付テハ貴

REEL No. 1-0344
0088
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

陳述ニ渉ラサリシ

ト陳弁シタルニ同大臣ハ更ニ同代理公使ニ向ヒ

貴官モ素知ノ通本大臣就職以来日猶浅ク未タ草斯科談判

ノ事情ヲ詳悉セス然レトモ本大臣所見ニテハ議定書第二條ノ意

味ハ甚タ明白ナルヲ露國政府ニ於テハ韓國ノ獨立ニ基キ主論ス

ルノ外ナシ大貴官ノ信セラルヘキ如ク議定書第四條ニ基キ日本政

府ニ於テ韓兵組織ノ問題ニ関シ露國政府ト談判ヲ用フル權

利アリトセハ我新公使ハ既ニ男爵モ不日赴任ノ途ニ就キ六月頃

ニ日本ニ到着セラルヘキヲ以テ其上貴國政府ニ於テ同公使ニ對シ掛

合セラレテモ宜シカルヘシ之ハ又是非當地ニ於テ開始セラレタルハ更

ニ書面ヲ以テ陳述サセラレヘ本大臣ハ更ニ講究スル所アルヘシ

ト相答ヘタル旨翌廿五日西園寺ヨリ是ヲ以テ二十七日

更ニ同代理公使ニ向ヒ本問題ハ帝國政府ニ於テ大ニ重キヲ

措ク所ナル新露公使カ東京ニ到着ノ上ニテ商議ヲ用フルコトヲ

異存無之旨露國政府ヨリ本日訓令ヲ下シタルニ同代

理公使ハ同月三日同國外務大臣ヨリ西園寺ニ陳

REEL No. 1-0344
0089
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

上ノ上奏ニ一ノ上書相渡シ置キタリシニ其後十數日ヲ経テ漸ク同政府同意ヲ得タル由ニテ（三十年四月十六日本野臨時代理公使ヨリ電）其際同外務大臣ハ同代理公使ニ向テ露國ハ日本ニ對シ毫モ不滿足ヲ抱クキ理由ヲ有セサルニ因リ「ロセン」氏ハ奏ノ際ニハ必ス萬事正實ニ日本政府ト協議シ其訓令ヲ與フヘキ積ナリシ由リ右ノ如ク然貴國政府ノ傳ヘラレタルトノ談話アリタル如ナリ

然ルニ其後四月廿三日ニ到リ韓廷ニ於テ露國士官百二十名傳入ニ與スル秘密條約協定ノコト相地リ発ヲ仕テ廿七日本野代理公使ニ電訓シ莫斯科議定書并ニ頃日ノ令責ニ依レモ本件ノ如キハ韓ノ日露両國間ニ協商ヲ経ヘキモノト認ムル旨ヲ申入レシメ且過日決定セル通リ新露公使着任ノ上韓國軍事顧問ノ大体ニ付帝國政府ト協商ヲ經タル上本件ヲ停止セシムルコトニ在ル露國公使ハ訓令スヘキ様同國政府ヲ促サシメ置キタル處同代理公使ハ同月三十日露國外務大臣ニ到リ右電訓ノ趣旨ニ應ニ頭ヲ相通シ尚一ノ口上書ヲ手交シタリシニ同外務大臣ハ同代理公使ニ向テ本件傳聞ニ接シ

REEL No. 1-0344
0090
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

尋ネテ韓國政府ヨリ日本ノ保護ヲモアルドモ右ニ関スル協約ノ趣旨ニ則ル目下如何程マデ進行シタルヤヲ知ラサルヲ以テ取調ノ上否ヤ

答ヘシトノコトニテ（三十年五月一日本稿除財政整理ニ関スル覚書）當日相分レ韓使「ローゼン」氏ノ旅宿ニ至リ韓國問題ノ成行ニ最後確訓ノ協力ヲ渡

内諾シ且韓兵訓練問題ノ如キ小事件ニテ日露両國感情ヲ害スル如キハ双方ノ為メ甚タ不利益ト信スルニ付右ハ已ニ本官ヨリ外務大臣ヘ申陳シ置キタレトモ尚ホ同人ヨリモ可成相関ル様依頼シ置キタル件ニ付テハ本多伊藤氏ヘ

トナキ旨相分リタル旨ヲ以テ五月七日同代理使ヲ

再度アリ同月十日露國外務大臣ヲ訪問スルニ同大臣同

代理使ニ向ヒ

過般貴官ヨリ申陳ノ露國政府意見ニテハ韓國ハ

純然タル獨立國ナルニ由リ國政府ハ陸軍ニ基軍隊ヲ組織スル

権利アリ隣ヲ露國政府モ韓國政府ノ依頼アルニ接シ之カ為メ其士

官ヲ派遣スルヲ以テ勿論ナリ然レトモ本件ニ付テハ貴國政府ヲ

中心トスルモアル事ナレバ「ローゼン」氏日本側ノ上日本政府ト談判

REEL No. 1-0344
0091
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ヲ同人ヨリ殘此府ニ於テモ敢テ異存ナシ尤我士官庭入ノ事ニ
付テハ兼テ韓國政府ヨリ其ノ筋ノ者モアルトモ近日ニ至テ別ニ「ウエベ
ー」氏ヨリ伊等報知ヲ受ケタルトモ前モ陳ベタル如ク本件ニ付
日本政府ト協議ヲ遂ケタルニハ我政府ノ敢テ異存ナキ所ナリ
由ニ「ロゼー」氏東京ニ着シ日本政府ト談判相整フニ至ル
迄ハ伊等モ決定セサル樣「ウエベー」氏ヘ既ニ訓令ヲ與ヘ且右
極「スペイヤー」氏ヘモ同樣通知シ置キタリ而シテ右兩氏ノ
電信ハ頗ル甚前日（五月四日）發送ヲ終リタリ

ト考ヘラルル旨回報アリタリ尋テ又同月廿三日ニ至リ同代理公使ヨ
リ電報アリ同十九日同代理公使ガ露國外務大臣ヘ面會ノ節
同大臣ヨリ去ル四日在韓國公使向テ發シタル本件停止ニ関
スル同大臣電訓ノ寫ヲ同公使ニ利用セサル前ニ同公使ヲ電信ニ
テ既ニ同國士官十七名藥手三名韓國政府ヘ傭聘約定ヲ
締結シタリト旨ヲ報シ來リタルトノコトヲ陳ベタリシニテ同
代理公使ハ右約定ハ確定シテ變更スヘカラサルモノナヤ否ヲ質問セ
シニ同大臣ハ之ニ答ヘテ該契約ハ既ニ調印セラレタリト雖モ日本

REEL No. 1-0344
0092
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

政府ト日本駐劄新露公使トノ間ニ協同整理ニ之ヲ實施セサル
ベシト云フノ旨通報アリタルモ右ニ関シ韓國外部大臣ハ在
京城加藤臨時代理公使ニ質問ニ答ヘ該協定ハ未タ爾ク締結セラレズ
ト断言シ居ルヲ以テ其旨露國外務大臣ヘ申陳スヘキ様同月廿
二日電信ニテ同代理公使ヘ回訓シタリシニ同代理公使ハ早速同外務大臣
ヘ右電訓ノ旨趣相通シタル處同大臣ハ同代理公使ニ向ヒ本
問題ニ関シテハ在韓「ロシヤ」氏ヨリ来電仰聞アリシテ元分
ニ其意ヲ盡サス就テハ同氏ヨリ詳細ノ報告アル迄ハ貴官ニ對

シ陳述スル能ハサル外ニ明言スルヲ得ス尤本問題ハ「ロシヤ」氏
日本ニ到着ノ上貴國政府ト協議スヘキ旨ヲ以テ其上ニアラサレハ確定スルヲ得サル旨ヲ仰聞ス目下右様ニナリ
居リタルトテ別ニ変ヲ生ノ事モナカリシト答弁アリ又同
代理公使ニ於テハ露國駐韓公使長トモ内談シタルニ同局長ハ五月六
日附在京城同國公使ヨリノ電信ヲ示シタルニ其記スル所仮ハ
同月五日韓國軍部大臣ヨリ露國士官三名下士十名仏国人教
師一名 横浜師団長一名楽手三名軍醫二名都合廿名ヲ

REEL No. 1-0344
0093
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

傭聘ヲ以テ之ヲ通ジ本国政府ノ名義ヲ以テ同人ニ
委任ヲ與ヘタルコトナリ而シテ亜国駐在ノ者ニ対シ
特別ノ訓令ヲ詔印シタルコトナカンシトノ趣旨ニ
テ再雇アリタイ
[redacted]ニ可ーセシ民ノ着任ヲ待テ協議ヲ試ミント決シ居ル際
[redacted]実ニ同年
(其到着ヲ待)
(三十年)七月末ニ到リ露西亜士官一行十三名仁川着報ニ接
シタルヲ以テ大隈前任外務大臣ハ八月四日ヲ以テ在露林公使ニ向テ
雇訓ト前顧事柔ニ接シ商議ノ結局ニ至ル迄本件ニ関スル

一切ノ厲置ヲ停止セシムルコトノ主意ヲ令ス駐韓露国公使ヘ
雇訓スベキ様同国政府ヲ促カサシメ置キタイト云フ林
公使ハ右雇訓ニ義ニ関シ露国外務大臣ハ曖昧ノ言ヲ
為シタルヲ以テ強テ之ヲ問ヒタルニ敵意ノ上確答ヲ與ヘシト称
シタイト申出アリ其後大隈大臣ハ同月廿日ヲ以テ新
露公使「ローゼン」男爵ト面談シ先ツ韓国ノ現状ヲ説明シ
然ル後同公使ニ對シ近日同公使トノ間ニ協商ヲ
結了スルヲ以テ露国士官雇入ノ件ニ関シ萬事見合ハスベキ様

REEL No. 1-0344
0094
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

左韓露両国ニ使ヘ電訓セラタルコトヲ本国政府ヘ電信ニテ
通報セラレコトヲ要求スルニ同ニ使ハ早速之ヲ承諾セラレタル
旨直チニ林ニ使ヘ電報シ尚同電ヲモ以テ意味ヲ再
ト露国政府ヘ申入レタル旨ヲ電キタリ然ルニ同月廿八日ニ到リ同
ニ使ヨリ前記四月ノ電訓ニ対シ同月十二日露国外務大
臣ヨリ一ノ書面ニテ
日本国政府露国ノ士官三名下士官十名ヲ韓国ニ
利用スルヲ報告ニ接シ右士官等ヲ韓国政府ト同ジ

直チニ契約ヲ締結スルコトアルヘキヲ慮リ露国ト日本国
トノ間ニ新タニ和協ヲ為スヲ以テ本件ニハ一切ノ手続ヲ見合セ
様在京帝国代表者ニ訓令ヲ発シタルヤ否ヲ問合セラレタリ、
露国外務省ハ去ル四月中本件ニ関シ請求セリ且調
和精神ニ依リ韓国軍隊組織ノ件ニ関スル一切ノ協議
ハ新ニ訓令ヲ発シタルヲ以テ見合ハスヲ貴国ニ申ス旨
露訓シタルコトヲ云ヒ再ヒ然ルノ外ナシト信ス右露訓ノ写ハ
東京駐在ノ我カ代理公使ヘモ送付セリ

REEL No. 1-0344
0095
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

過般韓國ニ利着ラレン士官三名下士官十名ハ舊冬ニ伝
リテ同國ニ赴キタルモノニシテ其処着ラレンハ全ク旅中ノ安全
ニ保因ラレンモノナリ露國外務省ハ目下韓國政府ト契約
ヲ締結スベカラザル如キ想像ヲ抱サシムルモ何等事實ノアルコ
トヲ了知セズ
トノ回答アリタレトモ右ニ付テハ利尼露國政府ヲ何等ノ確答ヲ
得ザルノ而シテ能クノ迄之ヲ論及ダルモ實際何等ノ利益アラザル
ヘシトノ同月十五日発ノ回電到達セリ（註）露言ハ十五日露京ヲ発セシモ組終故障ノ為

メ廿八日ニ至リ漸ク接到セシモノナリ）而シテ又九月四日ニ到リ林ヲ使ヲ二日発ノ
電報接到右八月廿六日ノ電訓ニ関シ前記五月十七日露
國外務大臣カ本野代理公使ヲ招キ所懷ヲ論駁トシ
同外務大臣ハ猶更ニ同大臣ニ之ニ對シ概要左ノ如ク
説明セリ
本件ハ最初同大臣ヨリ之ヲ本邦代理公使ニ通知ラレン
モノニシテ其故ハ氏事件ラレン其當時已ニ確定ラレルモノニテ彼
ノ軍隊組織ニ関スル同順ハ両國政府間ニ協議決定ニ至ル迄

REEL No. 1-0344
0096
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

之ヲ見合ハスヘシトノ協定以前ニアリテ且其範圍外ニ屬スル
ヲ以テナリ若シ其執行カ將来第三者トノ協議如何ニ
依ルモノトセハ其事件タル確定決定セラレタルモノトスフヲ
得サルヘシ之ヲ要スルニ同大臣ノ陳述セシハ畢ニ新任日
本駐劄露國使カ日本到着スルニ及ヘハ何等新ニ協定セラ
ルヘキコトナキヲ以テ此小事件ハ敢テ重要ノモノニアラスト
云ヒシニ過ギズ云々
ト露國外務大臣カ同代理ニ使ニ該話ノ節實際如何タル

言語ヲ用ヒタルヤ今日ニ於テハ之カ證左ナキヲ以テ纔テノ論
議ハ無益ニ屬スル旨申述ヘタリ
本件ニ関シ大隈大臣ハ同年九月七日ヲ以テ「ローゼン」
使ニ面會シ萬ト該判ヲ遂ケタリトモ前記林公使ヨリノ
来電中ニアル露國外務大臣ノ同公使ニ對スル回答ノ如ク仮令
要領ヲ得ス形勢既ニ此ノ如ク彼ハ專ラ言ヲ令因傭聘ノ約
束ハ彼我協商ヲ為サスト雖トモ前ニ既ニ成リタルモノナリトノコトニ
推シ如何ナル論議ヲ試ムルモ判底甚詮ナキ姿ナルヲ以テ其在

REEL No. 1-0344
0098
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

京城加藤中隊ヲ侵ス露國ヲ侵ト談判スルモ仔分要領ヲ得ザル
状況既ニ到着ス士官雇入ニ関スル契約結ヲ妨止スルト利
害行ヒ難キ場合ニハ其契約書中雇入期限ヲ民短ク又ハ
ト雖モ同士官等ハ軍隊ヲ訓練スルニ止ラシ之ニ對スル指揮命
令ニ干渉スルヲ得ズ等既ニ其職務ノ範圍ヲ狭クスルコトノ
條件ヲ明確ニ記載セシメ墨ノ棒書ヲ指示シ訓令シ墨キヲ
ニカ城ヲ九日同軍隊ヲ侵ス右士官雇入期限ハ三ヶ年
以内トシ專ラ韓國士官下士ノ訓練ニ從事スル外軍隊ノ指

揮監督ニハ一切干渉セシメサル丈ノ條件ヲ付シ墨ノ見込
ナリト旨回報アリタリ是ニ於テ同月林ヲ侵スモ去七日
露國ヲ侵ト會晤ノ次第及目下有様ニテハ以上右ニ関シテ論
議ヲ為スモ無益ナルヘケレトモ露國政府ニテ韓國政府ハ
全ク同政府ノ指置ニ異議ナキモノヽ如ク信セラルヽハ甚タ
不利益ナルヲ以テ露國政府向テ同政府ノ方ニテハ
今回ノ傭聘事件ハ新露國ヲ侵着任後今度同議スヘキ範圍
ノ外ニ侵ト思考ニ居ラルヽ由ナレトモ韓國政府ニ於テハ該事

REEL No. 1-0344
0099
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

件モ同ニ使者任後帝國政府ト商議セラルヘキ範圍内ニ
屬スト信ジ居レル旨書面ニテ聲明ヲ付置様電訓シ置キタ
リ然ルニ其際林ニ使ハ琉國議政國ヘ出張ナリシニ日本
野臨時代理ニ使ニ林ニ使ト陸復ノ末九月十五日露
國外務大臣ヘ右訓令ニ者掛ヲ案ニ同左譯文ノ如
キ口上書ヲ手交セシニ
日本國ニ使ハ韓國政府ニ於テ露國士官傭聘件
ニ関シ露國外務大臣閣下ヲ訪ヒシニ因テ四箇ヲ

且ツ本國政府ヘ照会ヲ
韓國ニ於テ露國士官傭聘問題ハ既ニ兩帝國
政府ノ間ニ意見ヲ交換シ居ル本問題ハ露國
ニ使ノ日本ニ到着スル迄未決ナルモノト日本國政府
ハ了解シ居ル
露西亞帝國政府ノ意見ニ依レハ右露國士官傭
聘問題ハ日露兩國政府ノ間ニ計畫中ナル韓
ノ範圍外ニアルモノト露國政府ヲ信ジセラルヘシ

REEL No. 1-0344
0100
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

リ日本帝國政府モ亦本問題ヲ右計畫中ノ取
極ノ内ニ包含セシメンカ爲メ本問題ニ関スル詳細ナル論議
ハ後日ニ延引セラレタルモノナリト最初ヨリ了解セル旨ヲ
茲ニ腹蔵ナク宣言スルヲ正當ト信ス
同大臣ニハ之ヲ左讀シタル上該問題ハ日露両政府
間ニ取極ムキ約定ノ範圍外ニ屬スル云々ト記載シアルハ稍
了解ニ苦ム所ニシテ露國政府ハ倩ラ範圍外ニシテト明言
シタル貴方ノ從ノ士官ニ在ノ事ハ前段アリシ様ニ付方ナシトモ

其他ノ事ハ貴國政府ト相談結ムヘキ積リナリ併シ右ロ上
書ニ對シテハ追テ書面ヲ以テ回答ヲ結ヒ度ハル旨代
理ニ依リ報告アリ其後本件ニ關シ別ニ何等ノ談話
モナク多分右ロ上書ニ對スル回答ハ差控ヘタル趣同氏
ト協議ヲ申述ヘタリ
前述ノ如ク日露兩國間久シク交渉中ナリシ露
國派遣ノ訓練士官モ右ノ一時中止ヤリ
(内顕モ右ノ一時中止ヤリ)
(日露兩國間ノ新協商)
ト共ニ須臾ニ於テ記載ノ露韓交渉ノ結果ニ基キ

REEL No. 1-0344
0101
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

用十七日ヲ以テ皇華館ヲ撤去サルヽヿトシ為ス

韓國ニ於ケル露國人「アレキセイエフ」ノ傭聘

昨三十年三月初旬在露本野臨時代理公使ヨリ露國政府ニ於テハ近々清韓國ヘ財政取調委員ヲ派遣シ同委員中最モ重ナルモノハ皇室露國大臣有ノ高等官タリシ「アレキセイエフ」トシルヘキ人ノ由或ル信スヘキ筋ヨリ同人ヘトタル旨電報相来リ居リシカ其後在韓加藤弁理公使ヨリ右派遣員「アレキセイエフ」及其書記官「ガアフィールド」ノ両人ハ同年九月三十日ナホラ京城ニ到着シ

REEL No. 1-0344
0102
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

翌十月一日駐韓露國ニ使ト共ニ内謁見ヲ為シ財政顧問ノコトニ関シ内奏スル所アリ國王モ亦之ニ乗シ平素憚ラル所ノ度支顧問「ブラウン」ヲ排斥シアリシキセイヲ」ヲ用ヒントスルノ傾向アリトノ報アリ右ハ去廿九年同派遣特派大使トシテ露國皇帝戴冠式ニ臨ミタルノ際韓國ヲノ委任ヲ奉シ財政及海関ニ使ス一切ノ事務ヲ指揮監督スル為メ一員ヲ派遣セラタキ旨ノ依頼ニ應シ露廷ヨリ右アリシキセイヲ」ヲ派遣

シタル仏ナルモ是レ全ク同國財政ノ全権ヲ一手ニ收ノ同時ニ「ブラウン」ヲ承存セントスルニ在ルヲテ在京英國摂領事モ極力之ニ反抗ヲ試ミ又大隈前伯外務大臣モ亦報ニ接スヤ直チニ加藤韓国公使ヲシテ隠然其防遏ヲ努メシメタルニモ拘ハラス露國ニ使ガ百方脅迫平政ヲ圧セシ為メ韓國政府ニ於テモ露ニ使ノ要求ニ應シ遂ニ十一月五日ヲ以テ外部大臣趙秉式ト露ニ使トノ間ニ左記ノ如キ「アレキセイヲ」傭入契約書ノ調印ヲ

REEL No. 1-0344
0103
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

斷行スルニ至ル

大韓國

大皇帝陛下ハ全權大使同伯爵ニ命シ大俄帝國政府ニ
請求セシム、俄國度支部ノ事務ニ深熟シタル官員一員ヲ
韓國ニ送リ須ラク大韓諸般ノ度支事務ヲ總辦セシメ兼
テ大韓海関ニ関スル諸般事務ヲ辦理スルコトヲ請求シ
タルカ故ニ俄國政府ハ此請求ヲ允准シ左ノ理由ニ因リ其
一大員即チ前日来着シタル「アレキセーフ」ニ命シテ案件

ニ至ラシメタル所ナリ故ニ韓國外務大臣趙秉式ト俄國
欽命ヲ使スペヤーレハ各其自國政府ヲ代表シ該「アレキセ
ーフ」ニ於テ將ニ行ハルヘキ辦理事務ノ情況ヲ合同商議シ左
ノ如ク條款ヲ安定セリ

第一款　「アレキセーフ」ヲシテ大韓度支部顧問官兼海関
顧問ニ任スル事

第二款　大韓政府ハ將ニ「アレキセーフ」ニ毎年度支部顧問
官俸給トシテ三千元ヲ給スル事

REEL No. 1-0344
0104
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第三款　該便顧問官ニ於テ処行辦理スベキ各件要件

ハ左ノ如シ

一、各型年度大韓國ノ稅入（歳入）及ビ費用額（歳出）ヲ先ツ準備シ大韓政府ニ提出スル事毎年主務大臣ト協議安辦シ獨リ顧問官ノ獨斷擅便ヲ許サザル事

二、大韓政府ニ入ル諸般ノ稅額ハ責任アル個ラノ主管員ヲ領收シ極メテ審慎ニ経困ニヲ看守シ便宜之ヲ需用スル事

三、定リタル徴収ニ從ヒ全國管理諸各計ニ必要ナル費用額ハ大韓國庫及其他官設銭額中ヨリ支拂フ事

四、政府費用額ヲ極テ審慎ニ看査シタル後務テ簡約ヲ旨トシ之ヲ計フ事

五、當年徴収諸款ニ関シ毎月度領スルヨト及費用額ノ計算帳ヲ毎月大韓政府ニ提達スル事

六、新ニ國債ヲ作ラザル又ハ舊債ヲ償フニ付其計畫ヲ大韓政府ニ提達スル事

REEL No. 1-0344
0105
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

七、國ヲ大韓財政ノ諸各事ヲ達セル事

第四款　大韓諸各部及其他官府ハ各其所関ノ財政事項ヲ必ス該度支顧問官ノ勧告及指示ニ依リ辦理シ該顧問官ニ對シ緊要ナル細則ヲ知照シテハ便宜ヲ與ヘ又別ニ相當ナル方法ヲ以テ及ブベキ丈ケ便宜ヲ與フル事

第五款　該度支顧顧問官ハ特ニ大韓政府ノ海関稅務司タルベキ一員ヲ薦舉シ現今ノ稅務司ニ代フル事

該稅務司ハ必ス度支部顧顧問官ニ諸般ノ帳簿ヲ送報スベシ但其相當ト認ムル需用費額及其他諸般ノ費額ヲ報告スルトキハ該顧問官ハ之ヲ以テ大韓政府ニ提出スル事

第六款　大韓政府ハ特ニ海関稅務司ニ任ヒラルベキ人ト條約ヲ訂結スル時ハ該員ニ相當ノ職務ヲ執行セシムル爲ノ細則ヲ安定スル事

第七款　該度支部顧顧問官賜暇ヲ得テ他行スルトキ

REEL No. 1-0344
0106
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

キハ其出発前他員ヲ撰ミテ不在中事務ヲ辦理セシ
ル事
該員ニ代ツテ事務ヲ辦理スルモノハ必ス俄國及韓國政
府ノ允許ヲ受ケタル後施行スル事
該顧問官俄國ニ還ルトキハ帰ニ其代理者ノ
大韓ニ来リタル後ニアラサレハ出發歸國スルヲト能ハサル
事
第八款　該條約期限ハ永久ニシテ定限スル所ナシ

両國交際既ニ厚ケレハ則チ年限ノ有無ハ之ニ
ル足ラス且其年限ニ拘ハラス若シ大韓人中材能得難
キ時ハ能ク顧問官ニ代ツテ職務ヲ行フ足ルモノアルトキ
ハ両國政府共ニ安議ヲ経テ後該顧問官ヲ解任スル
シ然レトモ韓俄両國人ヲ除クノ外他國人ハ一切聘
用セサル事
以上條約者相方合意ノ上永久定ヲ協定スルトキハ其條約期
限ヲ終了スルモノトス

REEL No. 1-0344
0107
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

年月日

外務大臣 靖秉武（押印）

露 公使 スペイヤー（押印）

右契約ノ條項ニ拠ル露國ハ韓國ノ財政ヲ挙ケテ新財政顧問ヲ「アレキセイエフ」ノ麾下ニ聘セントスルモノナリ

ニ付テハ其末段諸項ノ如キハ正ニ前記山縣大使ガ奏斯科ニ於テ韓國問題ニ関シ露國前任外務大臣ト協約調印セシ議定書ノ趣旨ニ合ハサルモノト認メラルルガ故ニ以降

覆書ヲ以テ李伊藤露國政府ニ対シ以テ該問題ノ再考ヲ求ムル様同年十二月十二日在露四林公使ヘ電訓致置キタルニ依リ同公使ニ於テハ右電訓ニ應シ左記譯文ノ如キ覆書ヲ作リ同月廿二日其筋露國外務大臣ヘ手交シタリ

帝國政府ハ駐韓代表者ヲ露國ノ財務顧問官伊令ノ件ニ関シ韓國政府ト在韓露國代表者トノ間ニ一形極ヲ締結シタイトノ通知ニ接セイ

REEL No. 1-0344

0108

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

右取極ニ依レバ

右財務顧問官ハ韓國政府ノ職員ヲ組成シ歳入ヲ管理シ歳出ヲ命令シ且若シ外韓國一般ノ財務及財務ニ関スル各官廳ノ指揮監督ヲ司ルモノヽ如シ

總稅務司ハ必ス右財務顧問官ノ推薦ニ係ル者ヲシテ之ニ任シ同顧問官ニ隷屬セシム同官ハ又公債ニ関シ其意見ヲ述フルモノトス

右財務顧問官カ賜暇ヲ得タル場合ニ露韓兩國政府ノ兼認ヲ經タル代理官ヲ命シ又歸國スル場合ニハ其後任者ハ韓國ニ渡來スルヲ待テ任地ヲ離ルヽモノトス

若シ將來露國財務顧問官ニ代リテ其職務ニ當ルコトヲ得タル韓國人ヲ生シタルトキハ露韓兩國政府篤ト協議ヲ遂ケ双方一致シタル後露國財務顧問官ノ職務ヲ受ケシヲ得タル但露韓兩國人ノ外ハ此職ニ任スルヲ得サルモノトス

此取極ハ無期限ニシテ露韓兩國政府合意ヲ得タル上

府兼認ヲ經タル代理官ヲ命シ又歸國スル場合ニハ其後任者ハ韓國ニ渡來スルヲ待テ任地ヲ離ルヽモノトス

若シ將來露國財務顧問官ニ代リテ其職務ニ當ルコトヲ得タル韓國人ヲ生シタルトキハ露韓兩國政府篤ト協議ヲ遂ケ双方一致シタル後露國財務顧問官ノ職務ヲ受ケシヲ得タル但露韓兩國人ノ外ハ此職ニ任スルヲ得サルモノトス

此取極ハ無期限ニシテ露韓兩國政府合意ヲ得タル上

REEL No. 1-0344
0109
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ナラバ之ヲ廢止スルヲ得サルモノトス

右取極ハ無期限ニテ韓國ノ財政ヲ露國財務顧問官ノ全權ノ下ニ置クモノナリ

故ニ帝國政府ハ右取極ノ條款ハ曩ニ莫斯科ニ於テ「プランス、ロバノフ、ロストウスキー」ト山縣大將トノ間ニ結ビタル議定書及其當時韓國問題ニ関シ「プランス、ロバノフ、ロストウスキー」ヲ山縣大將ニ再三保證セラレタル所ニ抵觸スルモノト思考スル旨ヲ露國政府ニ通告スルヲ至

當ト信セリ

依テ日本帝國政府ハ露國政府ニ於テ帝國ニ對シ表彰セラレタル真誠ナル友誼ヲ尊重セラレ韓國問題ニ関シ兩國間ニ存在スル所ノ協定ニ基キ右取極ハ再ビ之ヲ調査セラレンコトヲ希望ス

之ニ對シ同外務大臣ハ本件ニ関シテハ在韓同國ニ係ル電報ニ接シタルトモ電文簡略ニシテ今貴國ノ提出ニ係ル覆書ニ列擧セラレタル諸點中該ニ係ル電文ニ見エサル個

REEL No. 1-0344
0110
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

條數カラズ大日本政府ニ於テ甚ダ不調ヘラル
結果ニ於テ錯誤等ノ存ズルカラサルコトハ疑ハサルモ尚ホ
同公使ヨリ詳細ノ事情ヲ郵報シ来ルヲ俟テ研究ス
ヘキ旨陳ベ居ルトエフ
其後本年一月廿三日ニ到リ林公使ヨリ電報スル所ニ依レ
バ右ニ関シ露國外務大臣ト数回協議ヲ重ネタル處
同大臣ハ前顕同公使ノ覺書ニ對シ極メテ曖昧ナル復
答ヲ與ヘ未タ同公使ニ於テ同大臣ニ対シ

一書ヲ與ヘ来ルヘキ筈ナリトノコトナリ
~~然ルニ右露國政府派遣ノ韓國財務顧問タルニアリ~~
~~シキセイエフシモ前項記載ノ訓令ニ同シ露~~
~~韓交渉ノ結果如ニ去月十七日ヨリ其事務員~~
~~サルコト、為ス~~

REEL No. 1-0344
0111
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/